



きれいにしよう日本の空を

**日本空調サービス株式会社**

**Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.**

**2025年3月期 2Q(4-9月)**  
**決算説明資料**

2024年11月

東証プライム・名証プレミア：4658

会社概要	
会社名	日本空調サービス株式会社
証券コード	4658
事業内容	総合建物設備 メンテナンスサービス業
本社	愛知県名古屋市 名東区照が丘239-2
発行済株式数	35,784,000株
株主数	14,992名

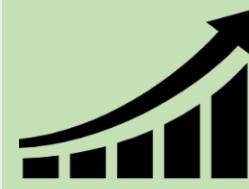


1964年4月 名古屋市中村区東宿町に設立。  
2024年4月に創業**60周年**を迎えました。

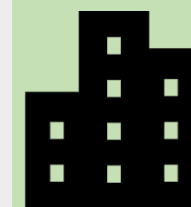
### 数字で見る日本空調サービス



資本金  
**1,139**  
百万円



売上高  
連結**582**億円



拠点数  
国内47都道府県  
**88**拠点  
海外6カ国  
**10**拠点



メンテナンス  
売上高割合  
**63.0%**



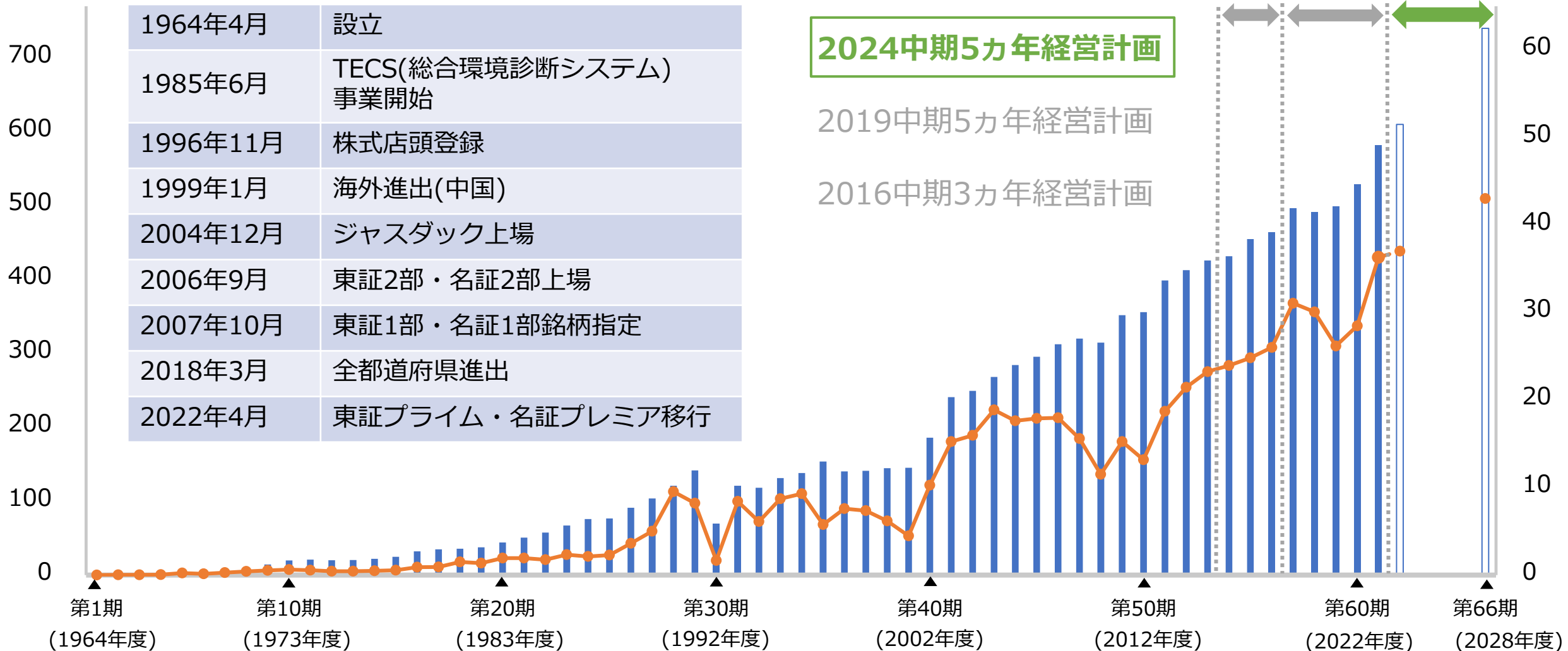
従業員数  
連結**3,202**名  
(内、技術系**2,552**名)

※従業員数・発行済株式数・株主数は2024年9月末時点、売上高・メンテナンス売上高割合は2024年3月期実績、拠点数(住所ベース)は2024年10月31日時点。  
※2023年3月期において連結子会社であったNACS BD Co., Ltd.は重要性が低下したため、2024年3月期は連結の範囲から除外。

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

## ■創業当時の売上高及び営業利益推移 (億円)

■ 売上高 (左軸)  
● 営業利益 (右軸)



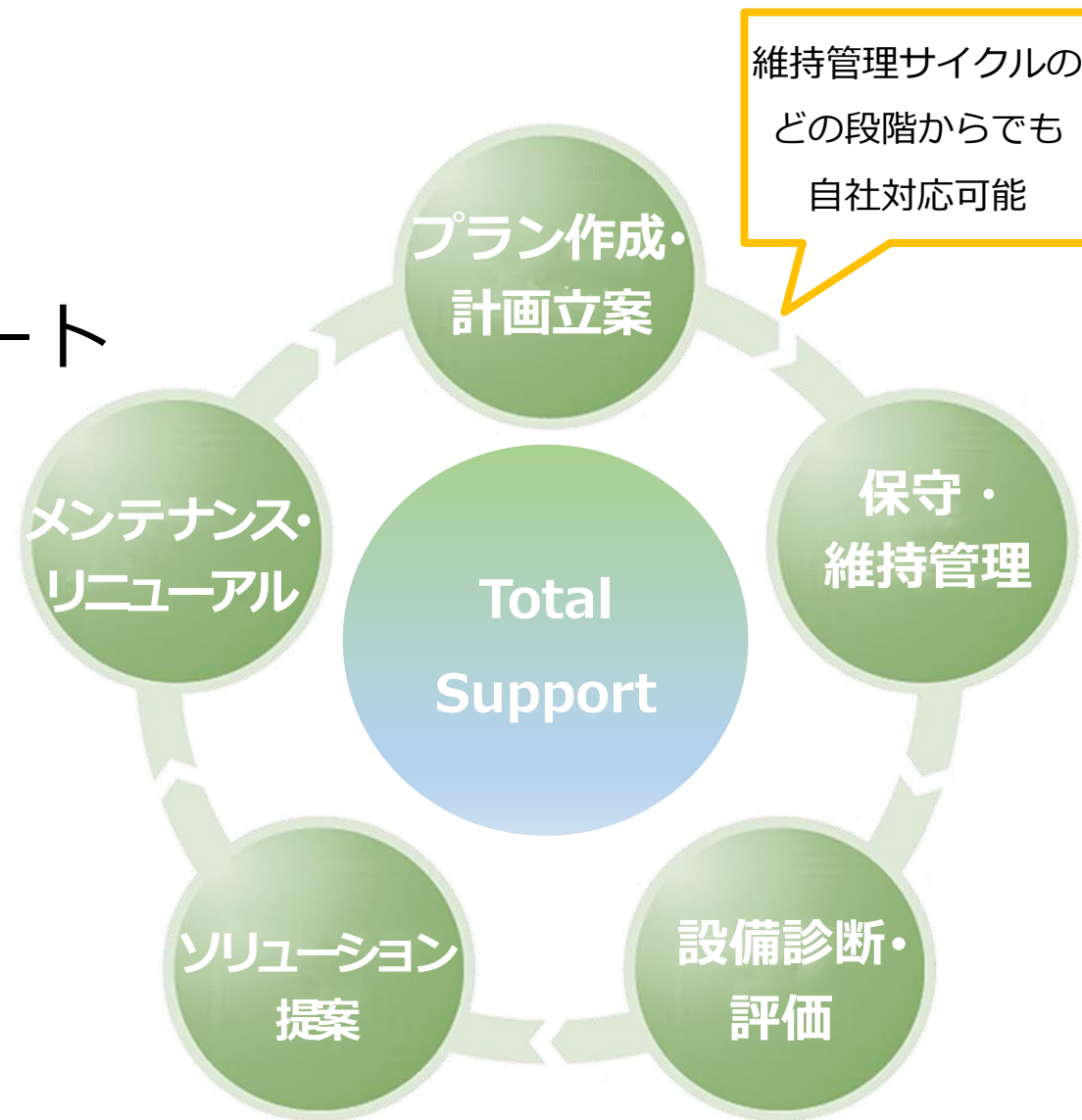
※第6期(1969年度)及び第30期(1992年度)は6カ月の変則決算。




## ■ 事業概要

建物設備のメンテナンス・維持管理、  
設備・環境診断、ソリューション提案、  
リニューアル工事によるトータルサポート

✓ 同業他社とは一線を画す特長

- ① 高度な技術力
- ② ソリューション提案
- ③ トータルサポート



事業部門	概要	売上高構成
<p><b>PM</b> Preventive Maintenance</p>	<p>お客様の施設に赴き、空調を中心とした建物の設備システム全般に対する点検・整備・修理・交換等を行う</p> 	<p><b>37%</b></p>
<p><b>FM</b> Facility Management</p>	<p>お客様の施設に常駐し、メンテナンスサービスと日常の維持管理を合理的に組み合わせた統括マネジメントを行う</p> 	<p><b>31%</b></p>
<p><b>RAC</b> Reform and Construction</p>	<p>空調設備や給排水衛生設備等の既設設備に対するリニューアル工事を中心に行う</p> 	<p><b>32%</b></p>

※売上高構成は2025年3月期2Q実績。

**I. 2025年3月期2Q 決算の概要** p.05-p.17

II. 2024中期5カ年経営計画 p.18-p.26

III. 株主還元 p.27-p.30

IV. 補足資料 p.31-p.43

売上高： **269**億円(+11.6%)

営業利益： **17.9**億円(+59.6%)

親会社株主に帰属する

中間純利益： **11.7**億円(+51.7%)

# I. 2025年3月期2Q経営成績

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

(億円、%)

連結 (累計期間)	2023年3月期2Q			2024年3月期2Q			2025年3月期2Q		
	金額	売上高 比率	対前年同期 増減率	金額	売上高 比率	対前年同期 増減率	金額	売上高 比率	対前年同期 増減率
売上高	218	100.0	+1.2	241	100.0	+10.3	<b>269</b>	<b>100.0</b>	<b>+11.6</b>
メンテナンスサービス売上高	161	73.8	+1.9	170	70.5	+5.5	<b>183</b>	<b>68.2</b>	<b>+7.9</b>
リニューアル工事完成工事高	57.4	26.2	-0.9	71.0	29.5	+23.8	<b>85.6</b>	<b>31.8</b>	<b>+20.5</b>
売上総利益	37.7	17.3	-1.5	44.1	18.3	+16.9	<b>54.4</b>	<b>20.2</b>	<b>+23.3</b>
メンテナンスサービス売上総利益	30.7	19.0	-0.6	35.1	20.7	+14.6	<b>40.0</b>	<b>21.8</b>	<b>+13.8</b>
完成工事総利益	7.0	12.3	-5.1	8.9	12.6	+27.1	<b>14.3</b>	<b>16.8</b>	<b>+60.5</b>
販売費及び一般管理費	31.0	14.2	+6.2	32.9	13.6	+6.1	<b>36.5</b>	<b>13.6</b>	<b>+10.9</b>
営業利益	6.7	3.1	-26.2	11.2	4.7	+66.7	<b>17.9</b>	<b>6.7</b>	<b>+59.6</b>
経常利益	8.2	3.8	-16.8	12.7	5.3	+55.6	<b>18.8</b>	<b>7.0</b>	<b>+47.4</b>
税金等調整前中間純利益	8.2	3.8	-23.3	12.7	5.3	+55.7	<b>18.7</b>	<b>7.0</b>	<b>+46.6</b>
親会社株主に帰属する中間純利益	4.6	2.1	-71.0	7.7	3.2	+67.8	<b>11.7</b>	<b>4.4</b>	<b>+51.7</b>
EPS (円)	13.52	—	-70.6	22.65	—	+67.5	<b>34.24</b>	—	<b>+51.2</b>



# I. 2025年3月期2Q経営成績

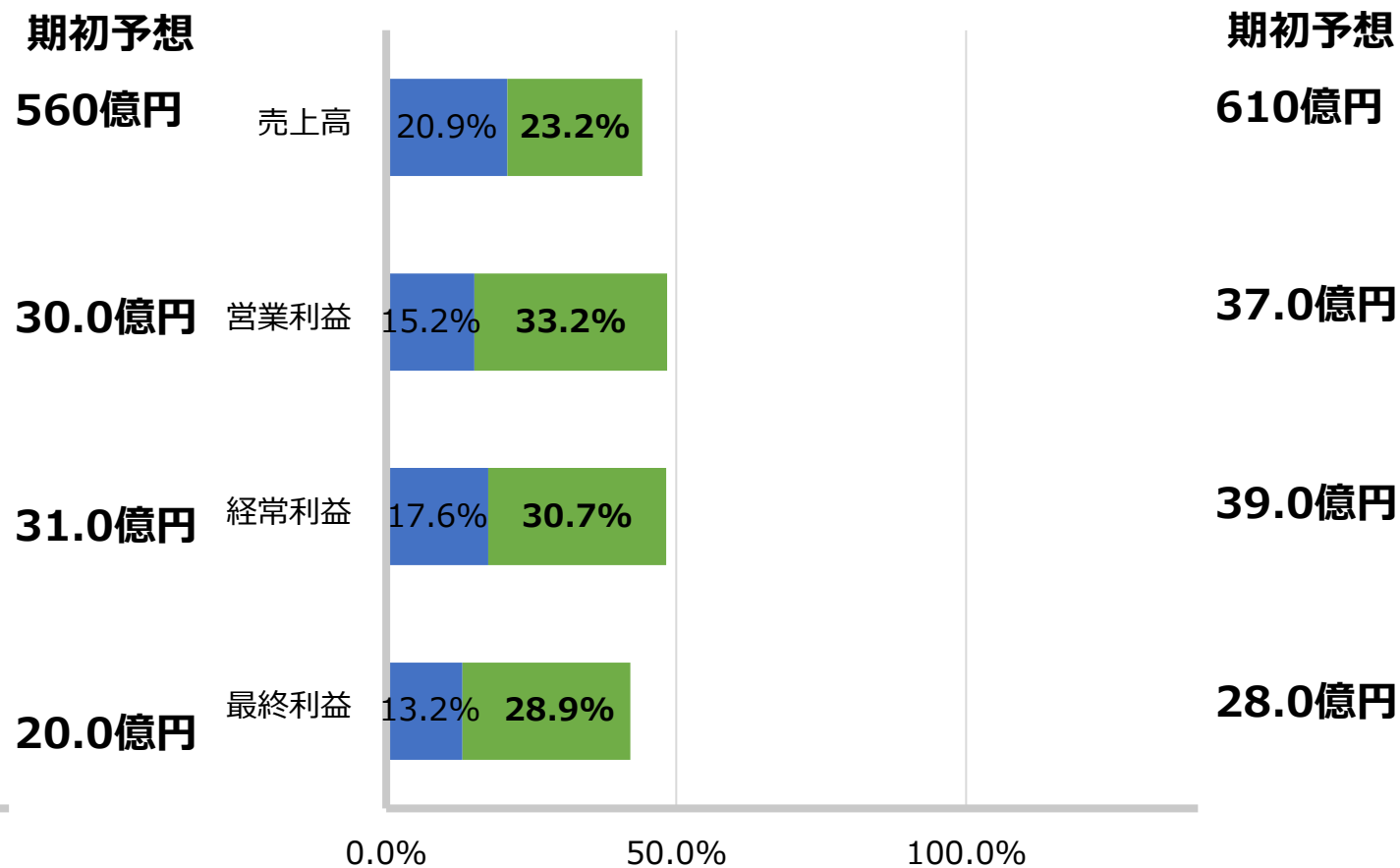
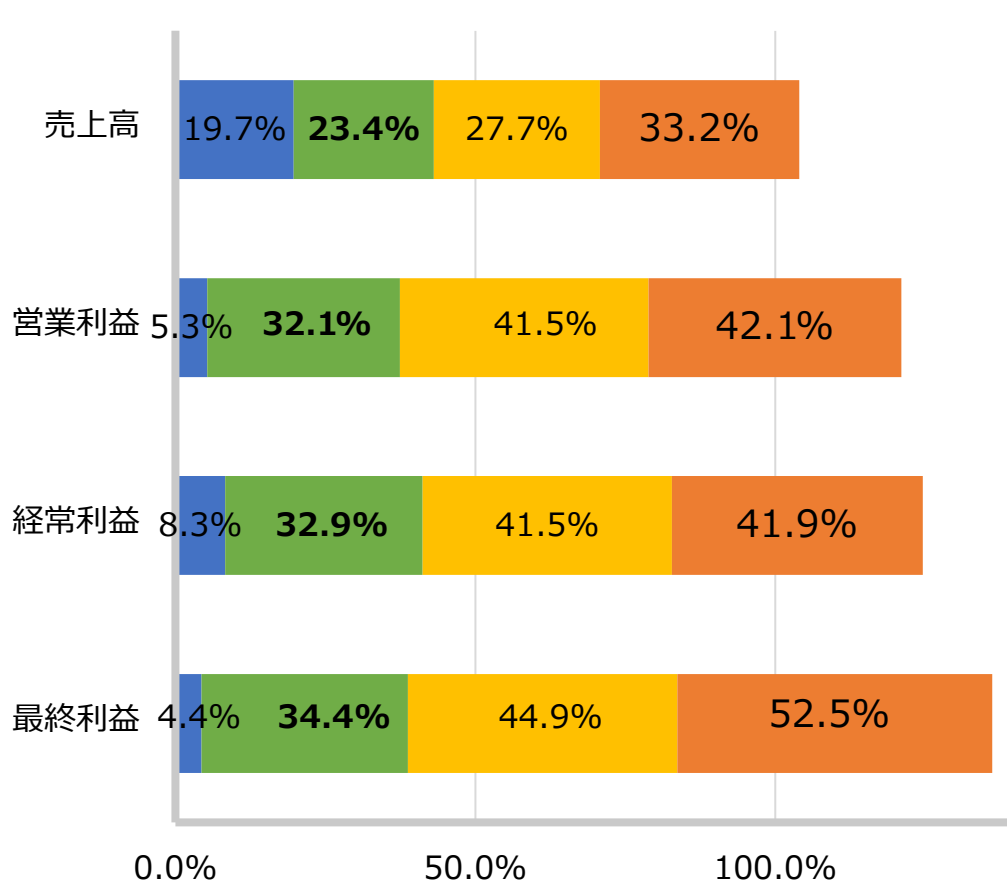
© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

競争環境の緩和や採算性の良い案件の獲得、高品質サービスの提供を前提とした適正価格での受注等が奏功し、売上高・利益ともに前期進捗を上回る。

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

■ 2024年3月期対予算進捗率

■ 2025年3月期2Q対予算進捗率



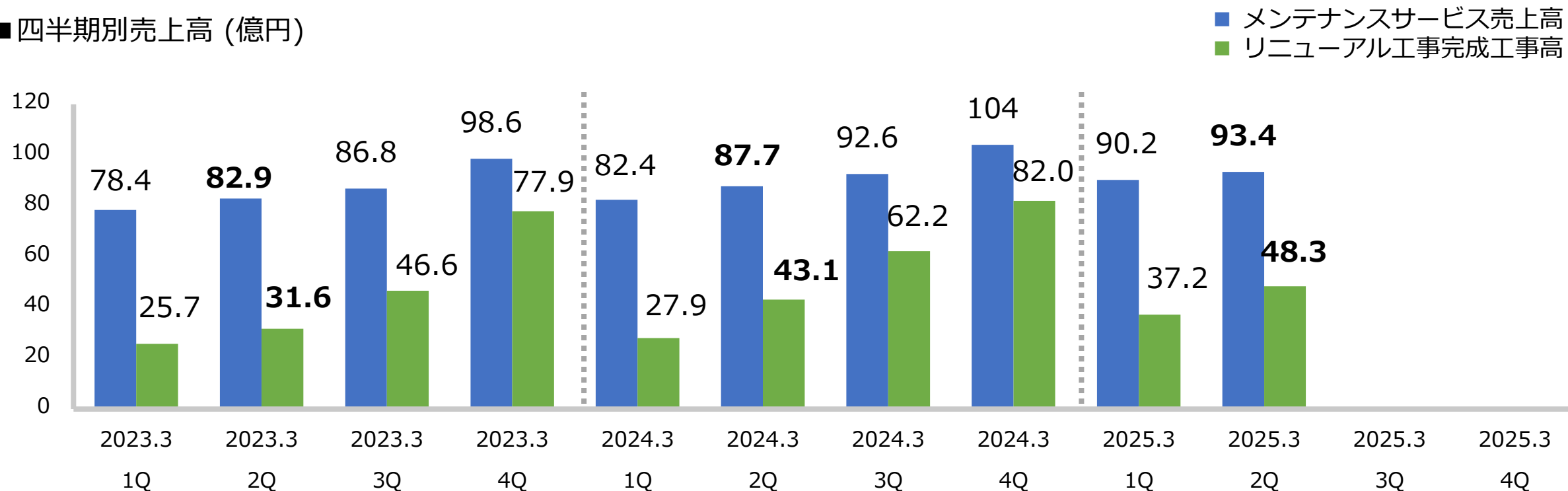
※最終利益は「親会社株主に帰属する当期(中間)純利益」を指す。

# I. 2025年3月期2Q経営成績

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

売上高は2Qにおいて2期連続過去最高。主力のメンテナンスサービスは、主に製造工場・オフィスビルにおけるスポットメンテナンスの増加により、2Qにおいて4期連続で過去最高。リニューアル工事も同施設での案件消化が好調で2Qにおいて過去最高。

## ■ 四半期別売上高 (億円)

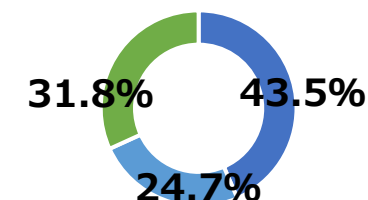
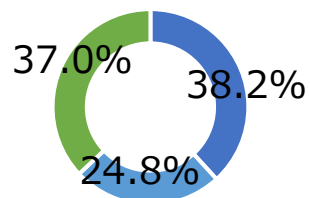
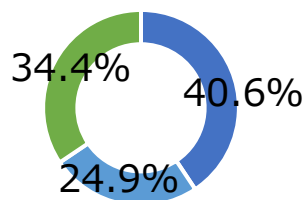


2023年3月期売上高比率

2024年3月期売上高比率

2025年3月期2Q売上高比率

- 年間契約
- スポット
- 工事

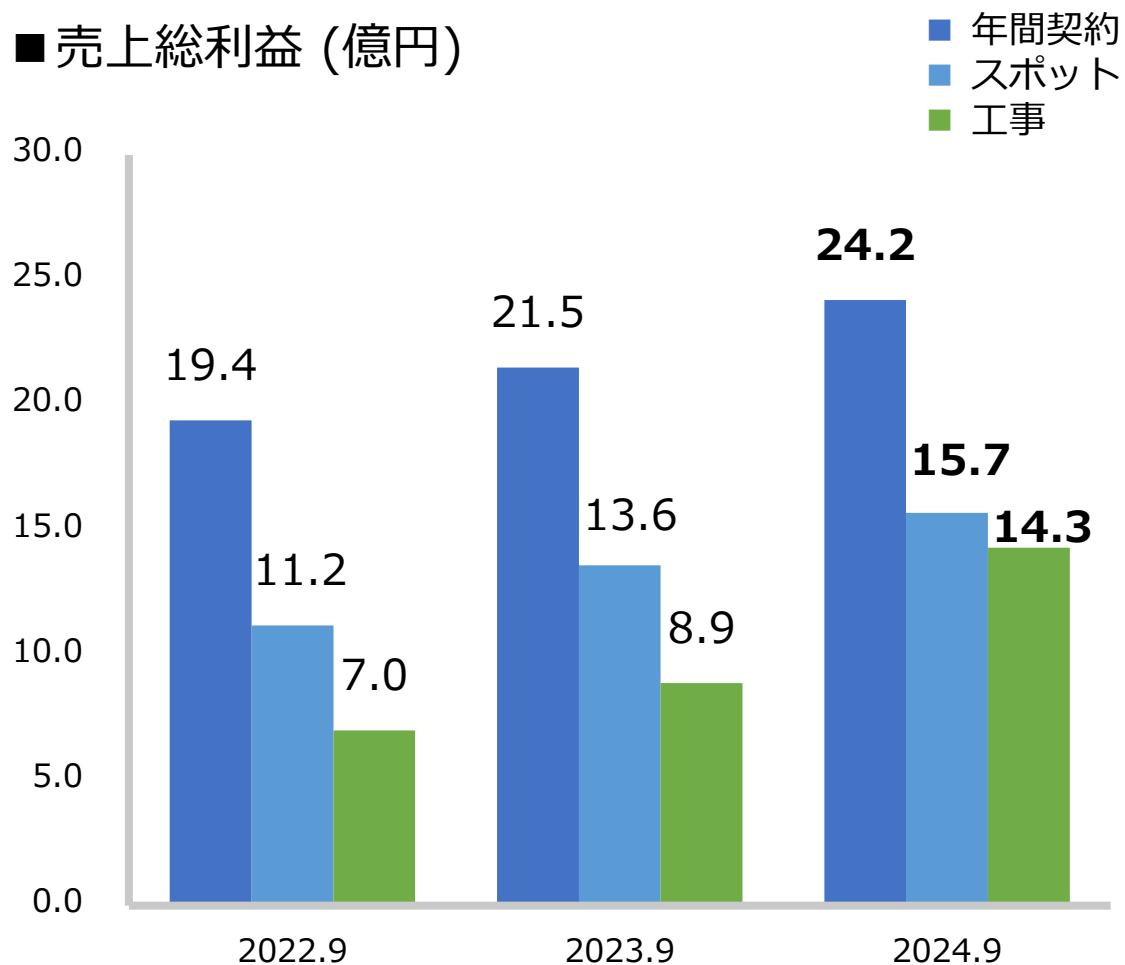


# I. 2025年3月期2Q経営成績

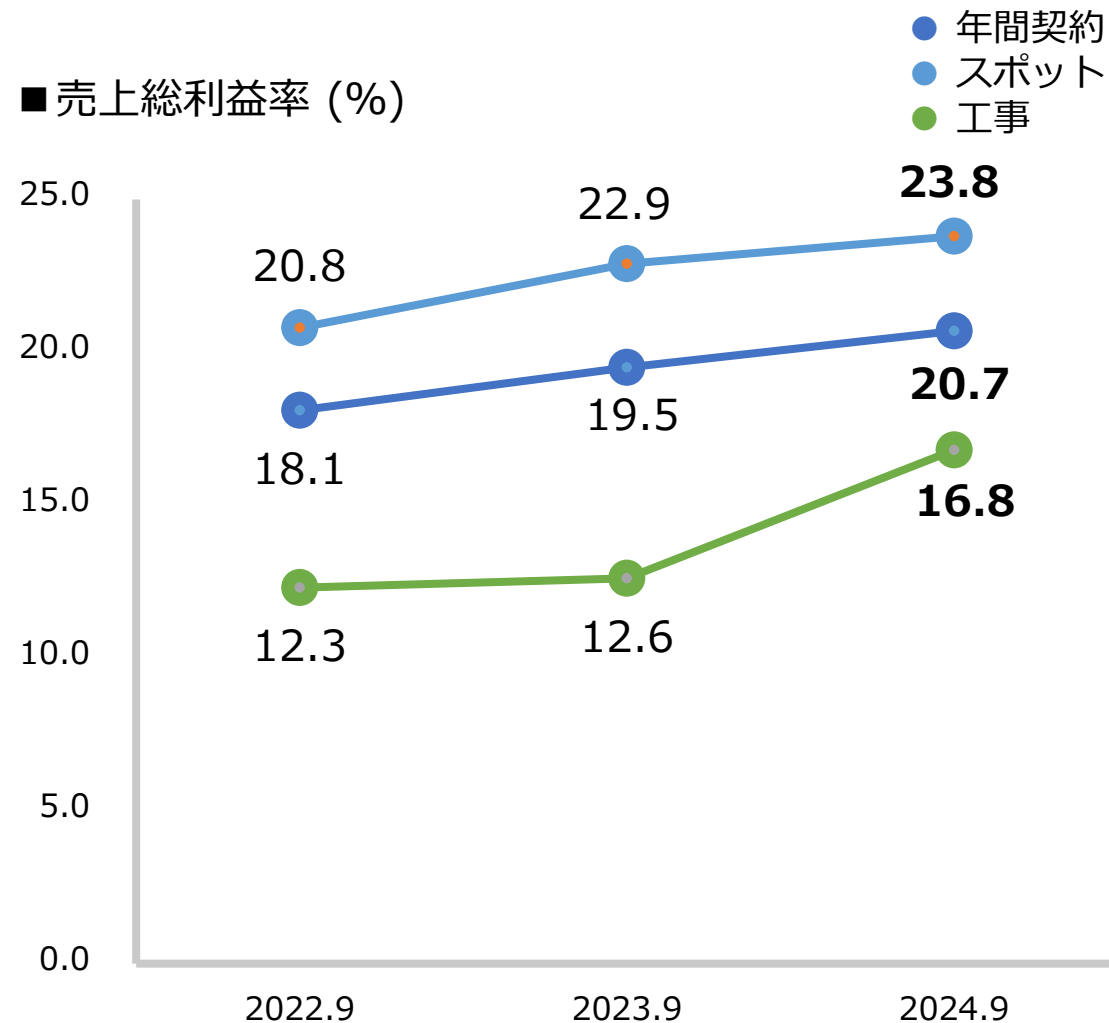
© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

資機材の調達価格や人件費の上昇等による原価の増加を吸収し、年間契約・スポット・工事の全てにおいて利益が拡大した。

### ■ 売上総利益 (億円)



### ■ 売上総利益率 (%)



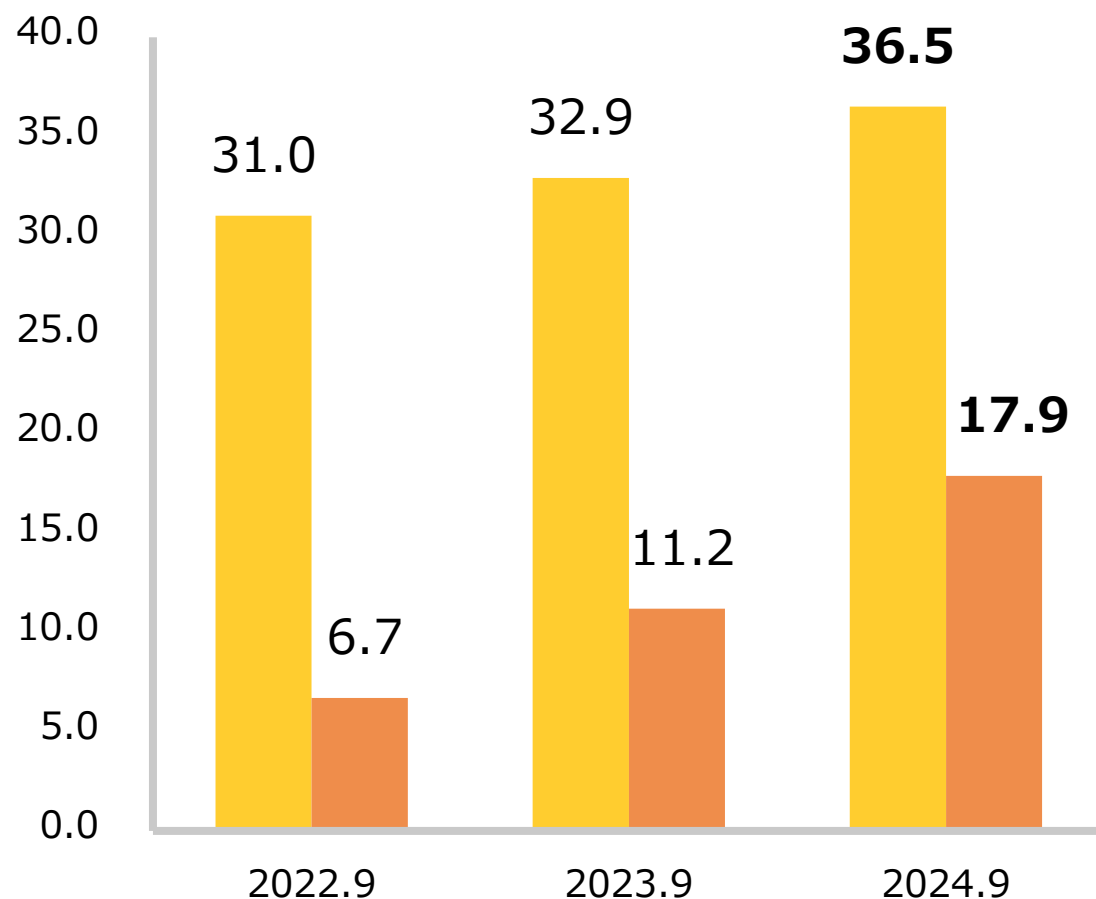
# I. 2025年3月期2Q経営成績

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

ベースアップによる人件費の増加や、創業60周年における記念優待の実施等により販管費が増加したものの、それを上回る売上高の増加により、営業利益は額・率ともに前期を上回った。

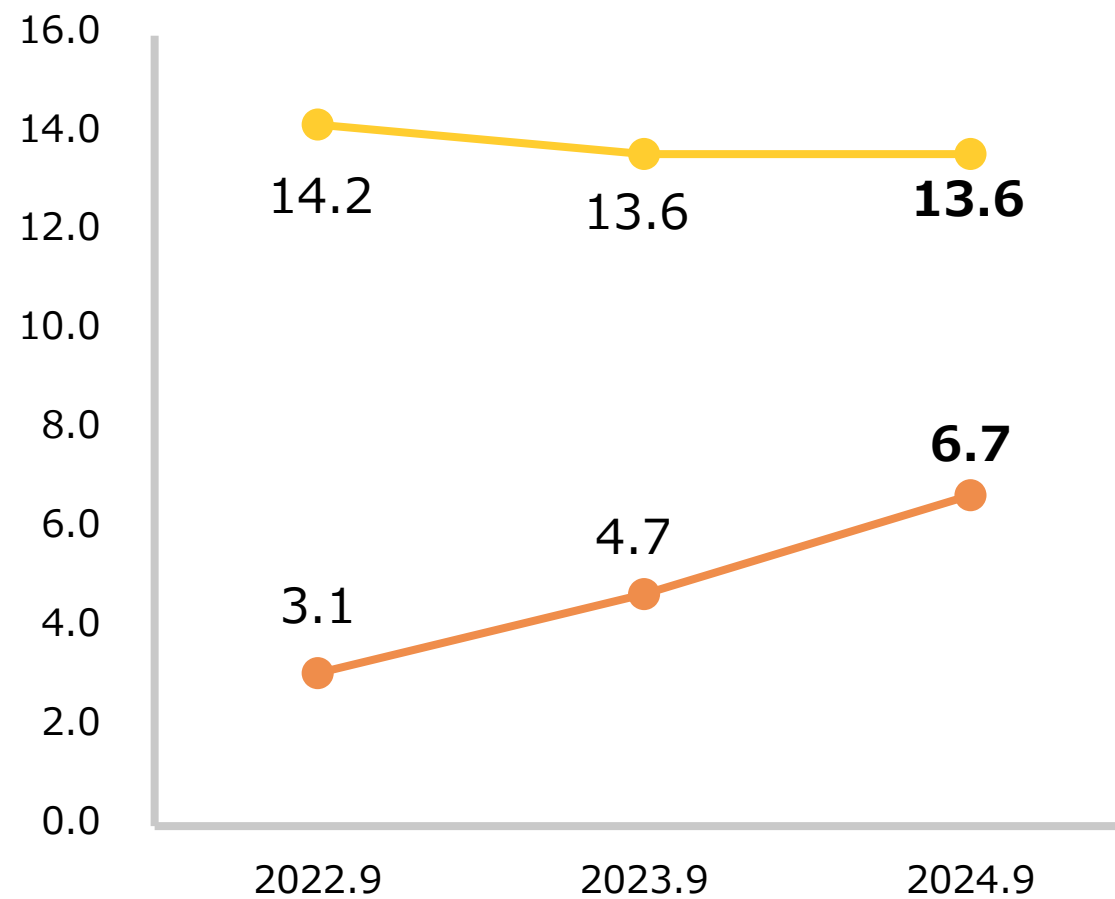
■ 販管費／営業利益 (億円)

■ 販管費  
■ 営業利益



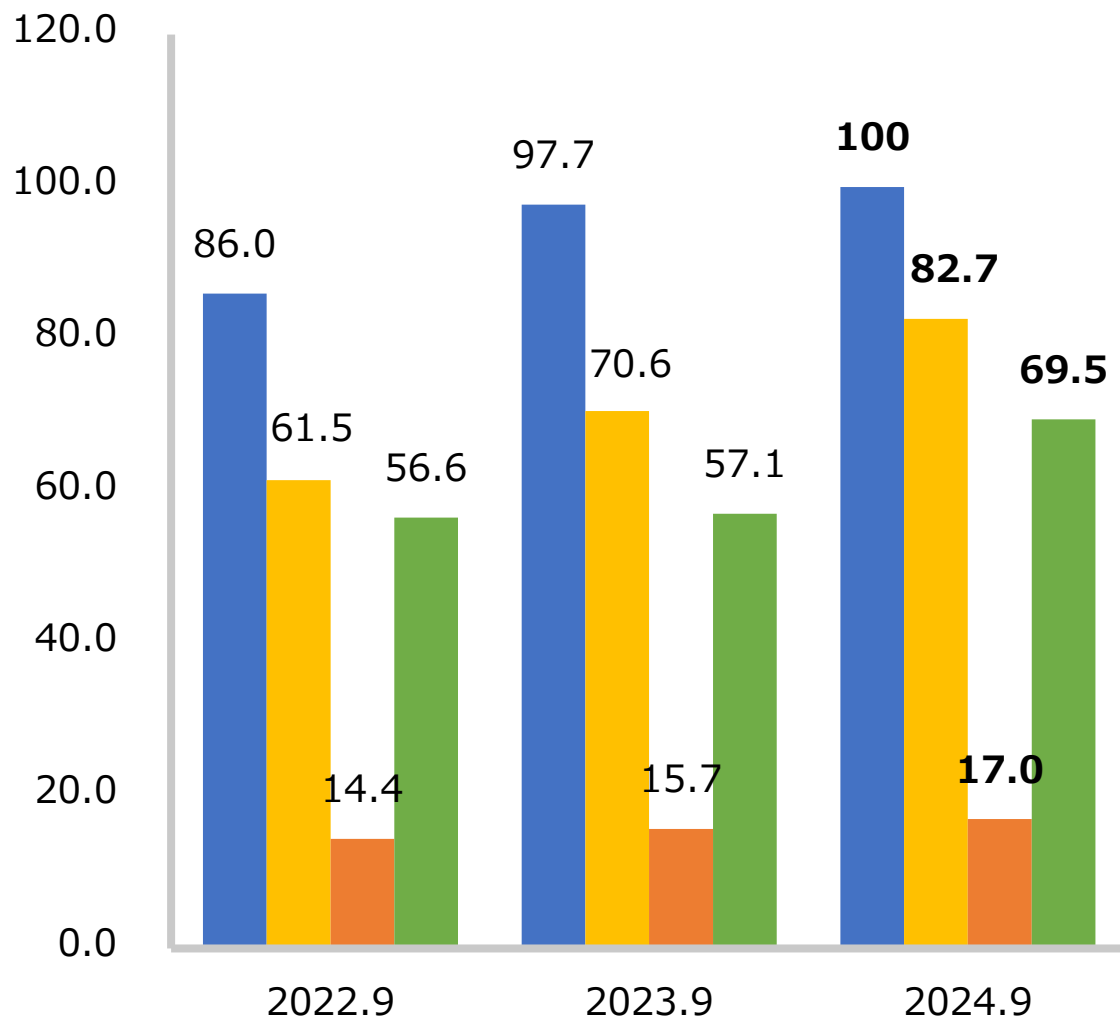
■ 販管费率／営業利益率 (%)

● 販管费率  
● 営業利益率



© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■ 受託施設別売上高 (億円)    ■ 病院及び研究施設    ■ 製造工場等  
    ■ その他の特殊な施設    ■ オフィスビル等



## ①病院及び研究施設

- ・メンテ・工事ともに安定的に推移  
 研究施設での機器更新・増設・改修工事等  
 大型案件が増加

## ②製造工場等

- ・メンテ・工事ともに増加  
 自家消費型太陽光設置工事の大型案件、  
 機器の更新・増設工事等案件の増加が寄与

## ③その他の特殊な施設

- ・スポーツ施設等での大型工事案件が発生しなかったものの、データセンター関連の修理・整備案件が増加

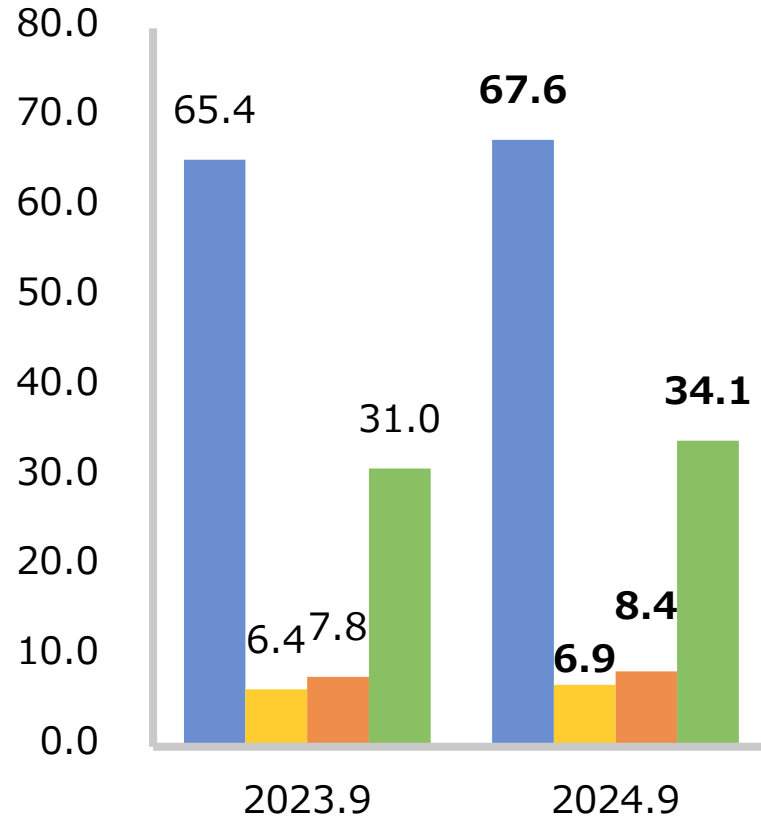
## ④オフィスビル等

- ・学校や銀行・ホテル等での大型の更新工事案件  
 増加が寄与

# I. 2025年3月期2Q経営成績

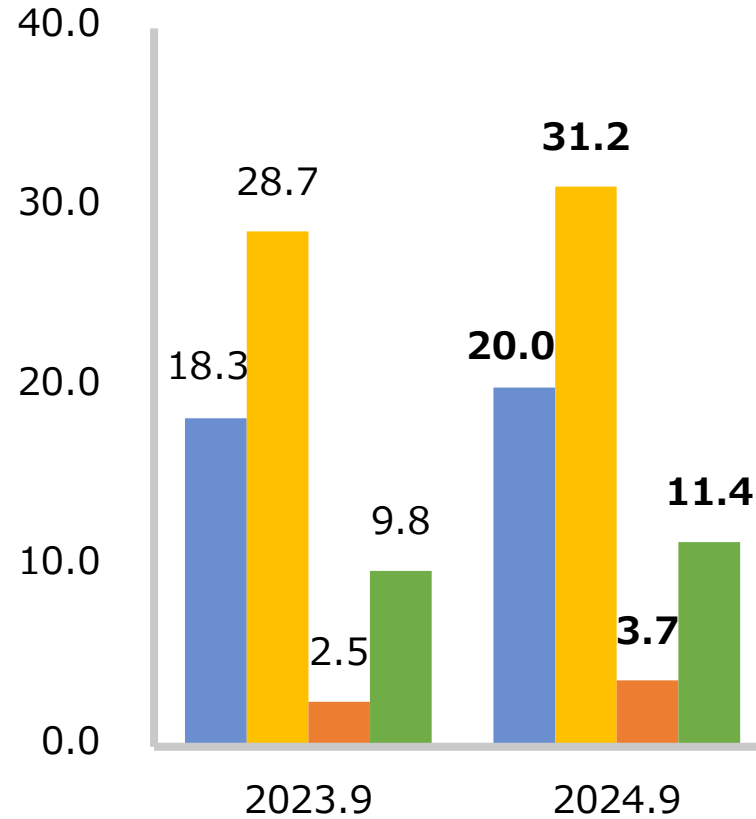
© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

### ■ 年間契約売上高 (億円)



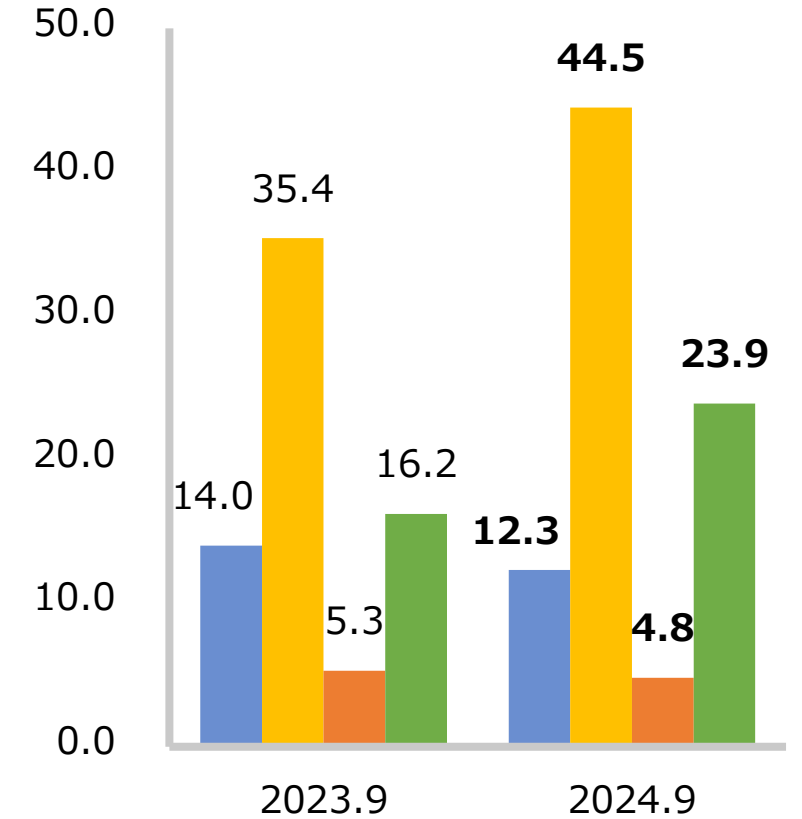
受注件数：2,674件      **2,650件**  
 平均単価：4,057千円      **4,336千円**

### ■ スポットメンテナンス他 売上高 (億円)



受注件数：18,364件      **18,638件**  
 平均単価：313千円      **348千円**

### ■ リニューアル工事 完成工事高 (億円)

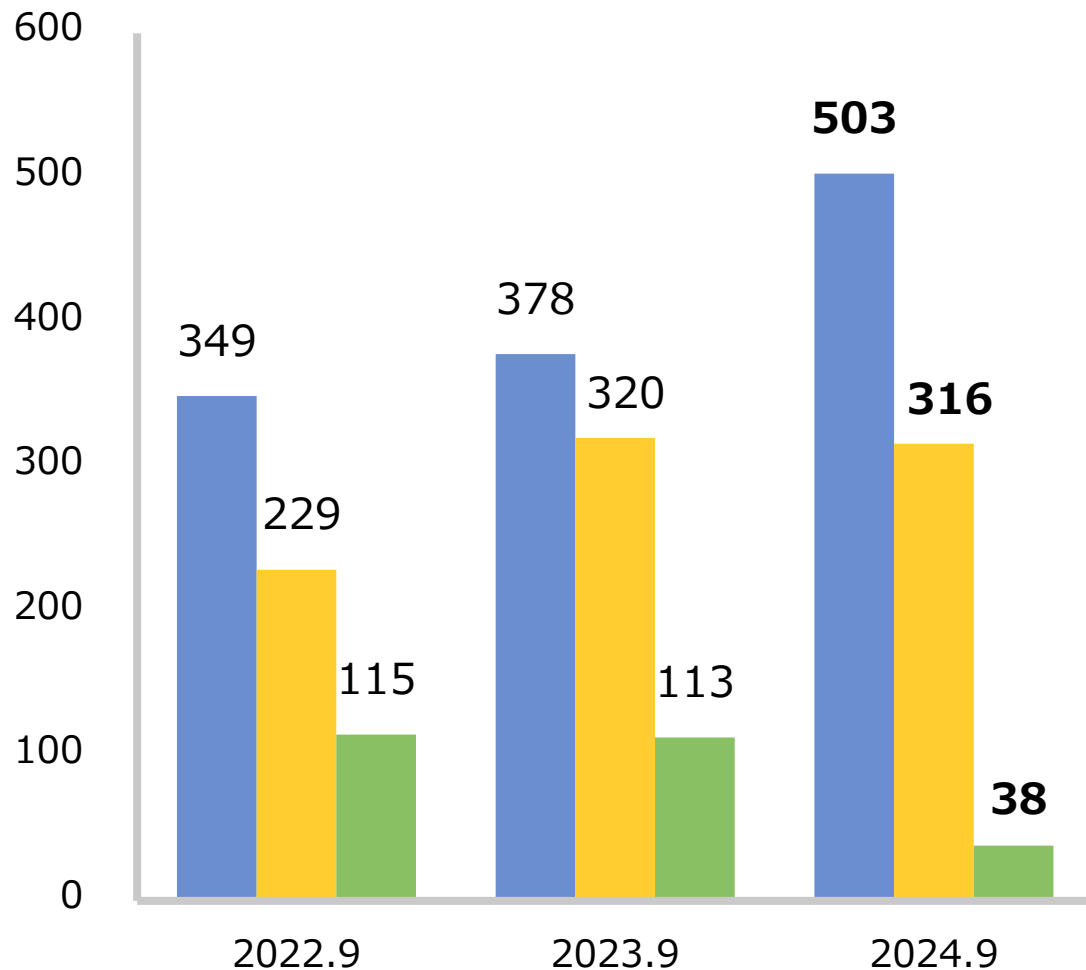


受注件数：2,054件      **2,001件**  
 平均単価：3,268千円      **4,040千円**

※受注件数・平均単価は国内のみ。

## ■ 地域別海外売上高 (百万円)

■ 中国 ■ シンガポール  
■ その他

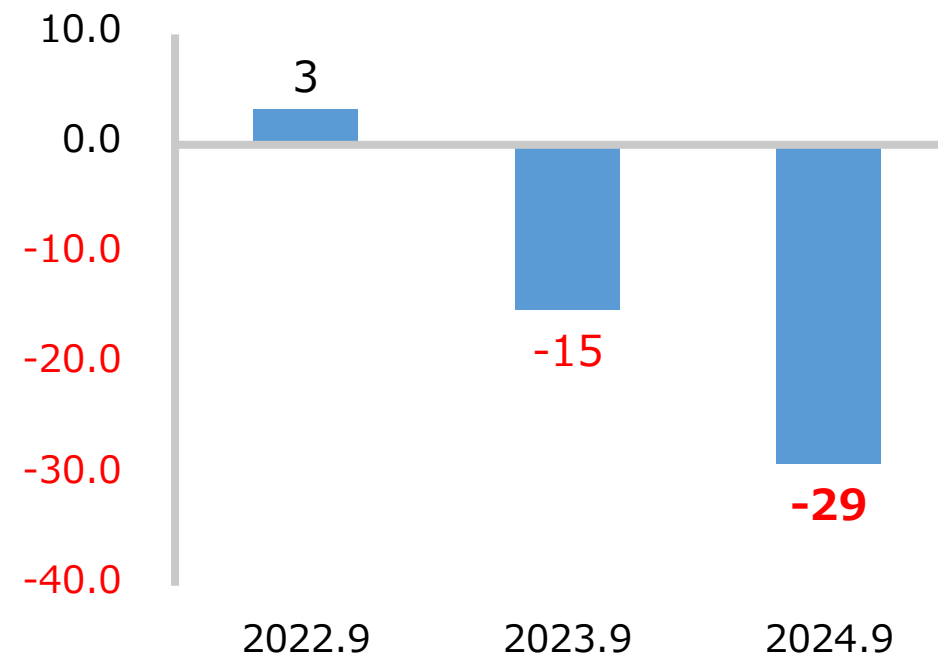


※その他はタイ、ベトナム。

## 海外売上高：8.5億円

タイは自動車産業の低迷等により苦戦。  
ベトナムは受注が増加しているものの、上半期に  
完成した案件が少なかった。

## ■ 海外営業利益 (百万円)



# I. 2025年3月期2Qキャッシュ・フローの状況

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結 (累計期間)	2024年3月期2Q		2025年3月期2Q	
	金額 (億円)	対前年同期 増減額 (億円)	金額 (億円)	対前年同期 増減額 (億円)
営業 キャッシュ・フロー	23.3	+19.3	<b>21.1</b>	<b>-2.1</b>
投資 キャッシュ・フロー	<b>▲8.0</b>	<b>-3.5</b>	<b>▲19.0</b>	<b>-10.9</b>
財務 キャッシュ・フロー	<b>▲5.6</b>	+0.0	<b>14.4</b>	<b>+20.0</b>
現金及び現金同等物 増減額	9.8	+15.6	<b>16.9</b>	<b>+7.0</b>
現金及び現金同等物 期首残高	58.8	<b>-7.6</b>	<b>62.4</b>	<b>+3.5</b>
現金及び現金同等物 中間期末残高	68.7	+7.9	<b>79.3</b>	<b>+10.6</b>

**投資CF 減少**



有形固定資産  
取得による支出

**財務CF 増加**



当社の技術・研修センター  
建設費用に関連する  
長期借入金の増加



連結 (期末現在)	2024年3月期		2025年3月期2Q	
	金額 (億円)	対前期 増減率 (%)	金額 (億円)	対前期 増減率 (%)
流動資産	263	+12.5	239	-9.2
固定資産	165	+17.3	183	+10.5
資産合計	429	+14.3	422	-1.6
有利子負債	17.3	+68.0	40.2	+132.0
その他負債	170	+14.7	134	-21.1
負債合計	187	+18.2	174	-6.9
純資産合計	242	+11.5	248	+2.5
負債・純資産合計	429	+14.3	422	-1.6

## 有利子負債

17.3億 ⇒ 40.2億



当社の技術・研修センター  
建設費用に関連する  
長期借入金の増加

# I. 2025年3月期業績予想

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

不安定な国際情勢や物価の高止まり等が続くと予想するものの、省エネや省コスト等に関する潜在ニーズを掘り起こし、増収増益を目指す。

(億円、%)

連結 (累計期間)	2024年3月期(実績)			2025年3月期(予想)		
	金額	売上高 比率	対前期 増減率	金額	売上高 比率	対前期 増減率
売上高	582	100.0	+10.1	<b>610</b>	<b>100.0</b>	<b>+4.8</b>
メンテナンスサービス売上高	366	63.0	+5.8	<b>385</b>	<b>63.1</b>	<b>+4.9</b>
リニューアル工事完成工事高	215	37.0	+18.3	<b>225</b>	<b>36.9</b>	<b>+4.5</b>
売上総利益	109	18.8	+17.6	<b>115</b>	<b>18.9</b>	<b>+4.8</b>
販売費及び一般管理費	73.4	12.6	+13.3	<b>78.0</b>	<b>12.8</b>	<b>+6.2</b>
営業利益	36.3	6.2	+27.5	<b>37.0</b>	<b>6.1</b>	<b>+1.9</b>
経常利益	38.6	6.6	+26.6	<b>39.0</b>	<b>6.4</b>	<b>+1.0</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	27.2	4.7	+40.4	<b>28.0</b>	<b>4.6</b>	<b>+2.7</b>

※正社員の給与水準の引き上げ(2023年4月 平均 6.8%、2024年4月 平均6.5%)を実施。

- I. 2025年3月期2Q 決算の概要 p.05-p.17
- II. 2024中期5カ年経営計画 p.18-p.26**
- III. 株主還元 p.27-p.30
- IV. 補足資料 p.31-p.43

# いき、続けるために。

お客様の事業活動のサステナビリティに寄与する

### PURPOSE

お客様の事業活動の**サステナビリティ**に寄与し、社会全体の価値向上を図る

### MISSION

お客様に安心感を与える最適な環境を**維持する**ために、  
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する

### VISION

**サステナブルな**全てのステークホルダーの幸せ向上

### VALUE

人的資本の価値向上による**サステナブルな**付加価値創出と還元

### **VALUE** 人的資本の価値向上による**サステナブル**な付加価値創出と還元

# 01

最大の財産である従業員の  
パフォーマンスを最大化  
させるエンゲージメントの  
向上

→ **社員エンゲージメント  
スコア70pt以上の維持**を  
目指す。

※社員エンゲージメントスコア…従来の満足度（仕事内容や組織、待遇にどの程度満足しているか）に対し、エンゲージメント（組織や仕事に対し貢献意識を持ち、主体的に参加しているか）の計測を目的としたKPI。

# 02

高品質サービスの中核と  
なる従業員の技術力を  
向上させるためのコア  
技術力指数の向上

→ **コア技術力指数CAGR  
3%以上**を目指す。

※コア技術力指数…従来の技術力指数（技術系公的資格取得数×資格点数÷技術系従業員数）から、より本業の成長と相関が高いと考えられる公的資格にて再構築したKPI。

# 03

特殊な環境を有する施設を  
中心とした、事業活動の  
サステナビリティ向上を  
目指すお客様への傾注

→ **特殊な環境を有する施設  
と一般的な施設の売上高  
比率は7:3を目安**とする。

※特殊な環境を有する施設…病院及び研究施設、製造工場等、その他の特殊な施設。

# 04

お客様の事業活動の  
サステナビリティを向上  
させるための省エネ提案の  
強化

→ お客様の事業活動に  
おける**温室効果ガス排出量  
の削減（年間10,000t-  
CO<sub>2</sub>以上）**を目指す。

### VALUE 人的資本の価値向上によるサステナブルな付加価値創出と還元

# 05

事業活動のサステナビリティを向上させるための海外事業の拡大と強化

→ 海外売上高**35億円**、海外営業利益**1.75億円**（海外営業利益率**5%**）の達成を目指す。

# 06

サステナブルな全てのステークホルダーの幸せ向上を達成するための利益水準の維持

→ 売上高の持続的な成長を前提に、本計画期間中の平均営業利益率**6%程度**の維持を目指す。

# 07

企業価値創造に必要なとなる資本コストを上回る資本生産性の維持

→ 8%程度の株主資本コストを上回る、本計画期間中の平均ROE**10%程度**の維持を目指す。

※株主資本コスト…投資家との対話等から想定。

# 08

サステナブルな株主還元の実施

→ 1株当たり年間配当金の下限**40円**、配当性向**50%程度**、純資産配当率**5%程度**を目安とした持続的な利益還元を目指す。

## Ⅱ. 2024中期5カ年経営計画

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

本業の成長を示す財務KPIと、その達成に相関が強いと考えられる非財務KPIの再設定により、企業価値拡大を目指す。その結果は企業の将来性を客観的に評価する指標である株価で示される。

旧KPI	2024.03 (実績)	新KPI	2029.03 (目標)
売上高	58,232 百万円	売上高	<b>74,000</b> 百万円
営業利益	3,630 百万円	営業利益	<b>4,300</b> 百万円
営業利益率	6.2 %	期間平均 営業利益率	<b>6.0</b> %程度維持
経常利益	3,863 百万円	経常利益	<b>4,500</b> 百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,725 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益	<b>3,200</b> 百万円
EPS	79.40 円	EPS	<b>93.00</b> 円
ROE	12.1 %	期間平均 ROE	<b>10.0</b> %程度維持

旧KPI	2024.03 (実績)	新KPI	2029.03 (目標)
特殊な環境を有する 施設売上高比率	75.2 %	特殊な環境を有する 施設売上高比率	<b>70.0</b> %程度
海外営業利益比率	<b>-0.2</b> %	海外 営業利益	<b>1.75</b> 億円
従業員満足度 (個別)	67.3 %	社員エンゲージ メントスコア	<b>70.0</b> pt以上維持
技術力指数 (個別)	22.8 pt	コア技術力指数 CAGR	<b>3.0</b> %以上
配当性向	49.1 %	配当性向	<b>50.0</b> %程度
1株当たり 年間配当金	39.00 円	1株当たり 年間配当金	<b>46.00</b> 円程度
		純資産配当率	<b>5.0</b> %程度

※新KPIの1株当たり年間配当金…EPS×配当性向で算出（配当金額をコミットするものではない）。

※温室効果ガス排出量削減（年間10,000t-CO<sub>2</sub>以上）のKPI…サステナビリティに関する指標として別途管理。



企業価値拡大の要となる「**人的資本の価値向上**」の加速を目的として、現在、技術・研修センターを建設中であり、**2025年4月**より本格稼働させる予定。

### ▶技術・研修センターの完成予想図



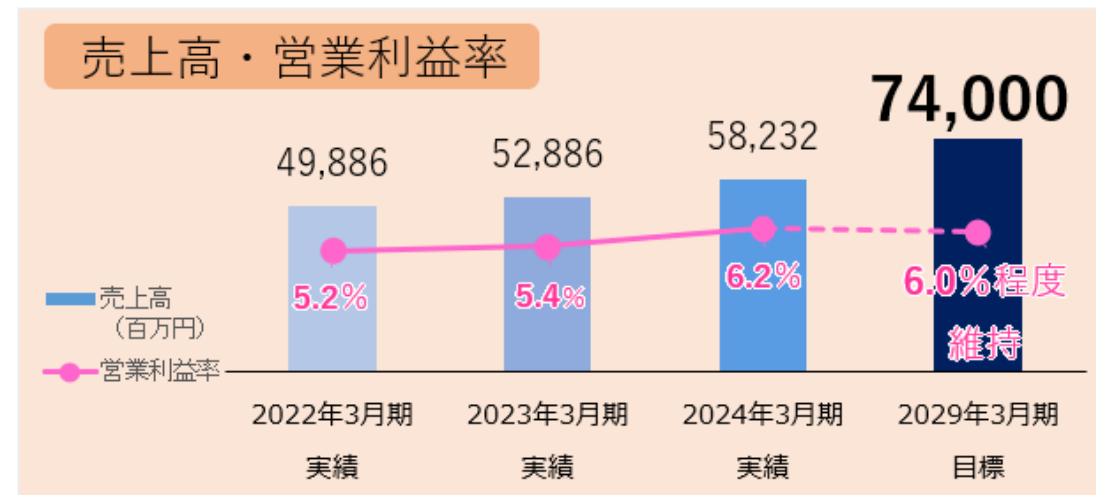
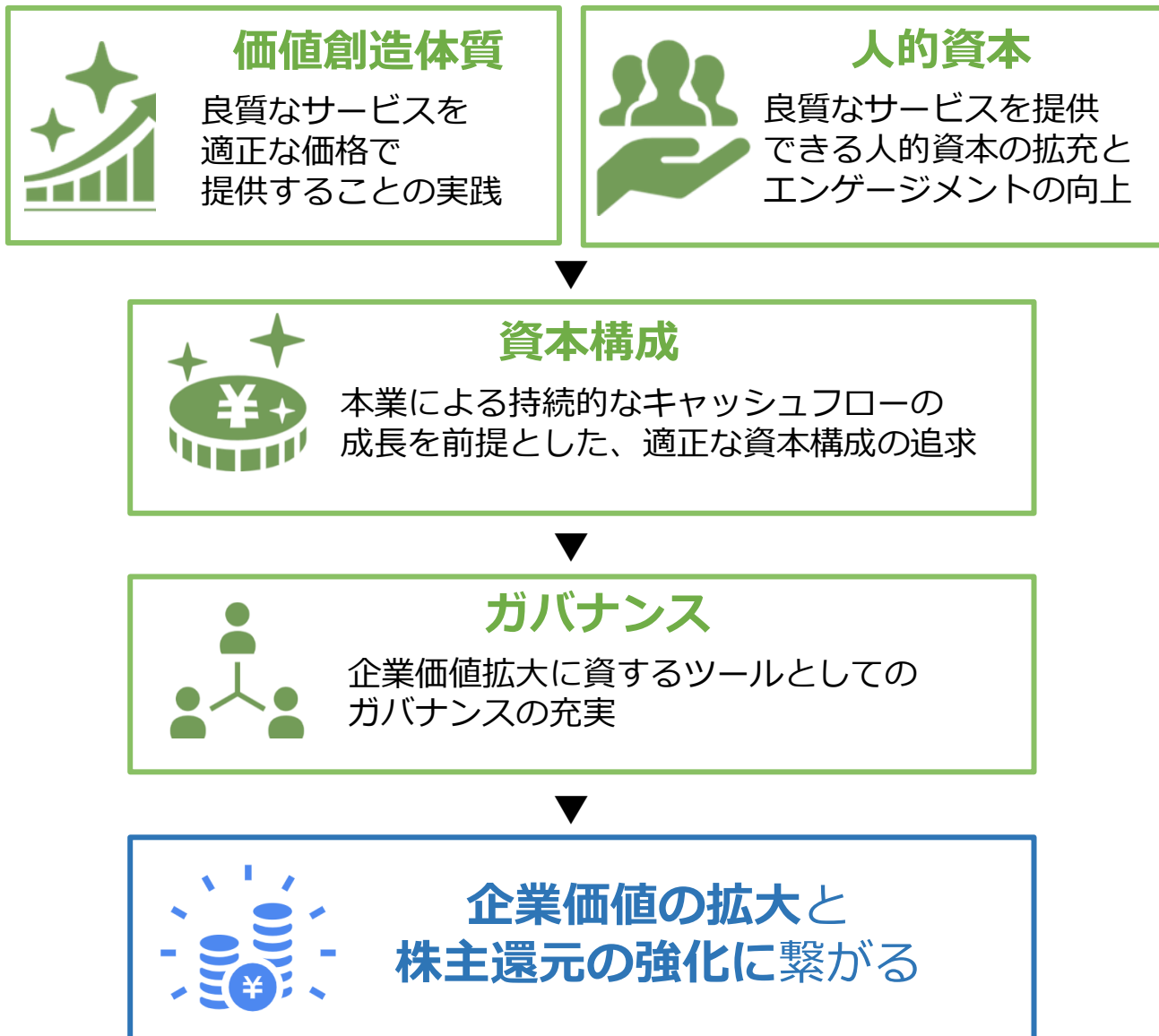
### ▶技術・研修センターの概要

所在地	愛知県名古屋市南区
竣工予定	2024年11月
稼働予定	2025年4月
延床面積	約4,100㎡
規模	地上4階 + 屋上
目的	企業価値拡大の要となる 「人的資本の価値向上」の加速

### ▶技術・研修センターの役割

- ・クリーンルーム、機械室等のメンテナンス現場を再現した研修設備を整備予定
- ・新入社員向けとして、実機を用いた空調ほか設備基礎研修等を実施予定
- ・既存社員向けとして、実機を用いた設備能力診断研修や各種資格取得に関する研修等を実施予定
- ・環境管理部（環境分析〔理化学・放射線〕、微生物検査、作業環境測定、研究開発等）等に移管予定

## 「本業の競争優位性を高めることに最大限注力する」



### 株主還元

- ✓ 1株当たりの年間配当金 **下限40円** に設定
- ✓ 連結配当性向の **目途50%程度** の維持
- ✓ ROEの水準 **10%程度** の維持
- ✓ 純資産配当率の水準 **5%程度** を目安

▶▶ **持続的な利益還元**を目指す

# やるべきことをやる。

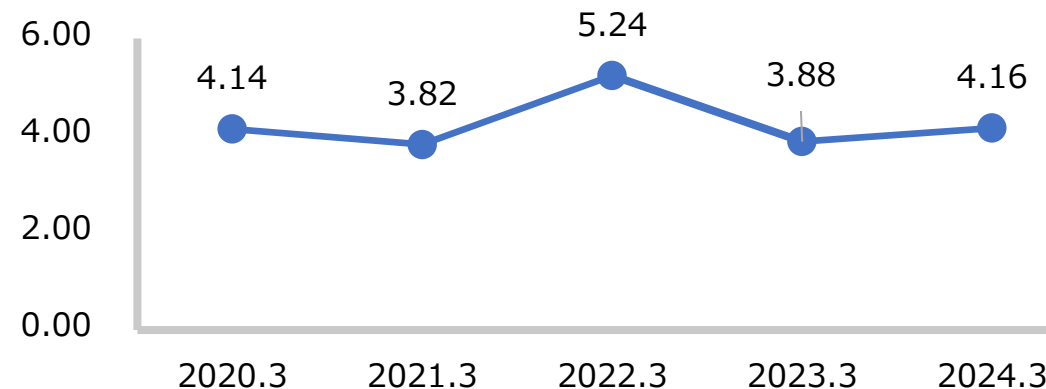
本業の競争優位性を高める

- I. 2025年3月期2Q 決算の概要 p.05-p.17
- II. 2024中期5カ年経営計画 p.18-p.26
- III. 株主還元 p.27-p.30**
- IV. 補足資料 p.31-p.43

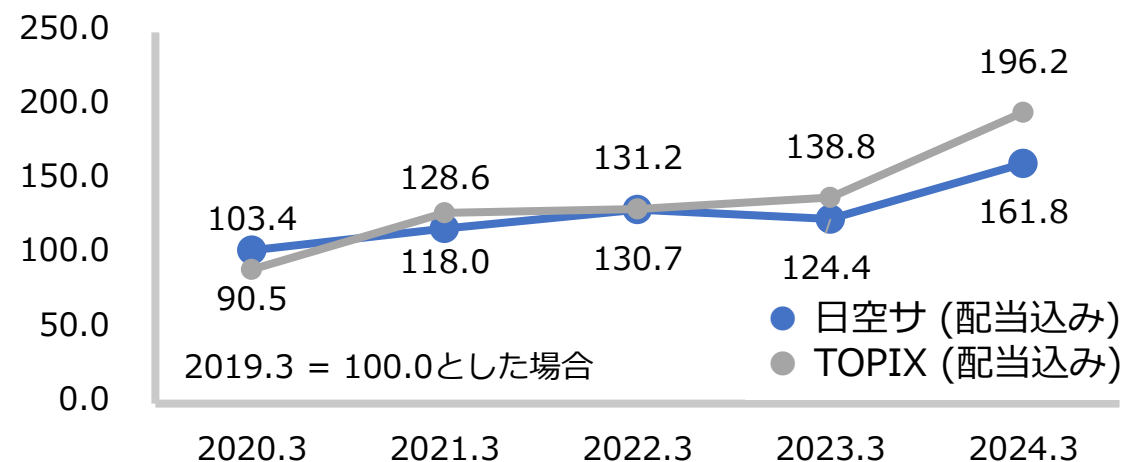
## 株式情報

株価	1,025円
時価総額	366億円
配当金	1株当たり40.00円
配当性向	49.1%
配当利回り	3.90%
株主数	14,992名
PER	12.58倍 (EPS : 81.48円)
PBR	1.48倍 (BPS : 693.46円)
ROE	12.1%

### ■ 配当利回り (%)



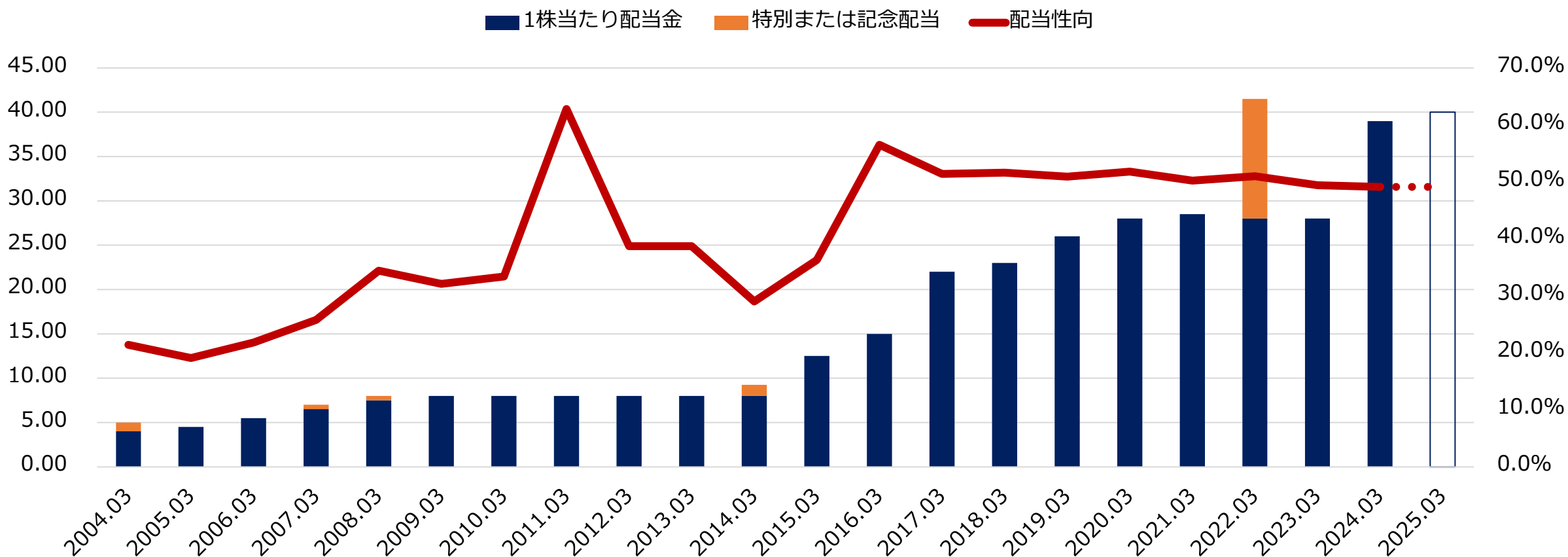
### ■ 株主総利回り (%)



※株価は2024年11月6日時点、配当金・EPSは2025年3月期予想、株主数は2024年9月末時点、BPS・ROEは2024年3月期実績。  
 ※時価総額は2024年3月期2Q発行済株式数(自己株式を含む)を用いて算出。

2025年3月期は、1株当たり40円（中間配当20円、期末配当20円）の年間配当を実施予定。

## ■ 1株当たり配当金及び配当性向の推移（円、％）



※1株当たり配当金…2014年4月、2016年4月に実施した普通株式1株につき2株の株式分割を調整。

※特別または記念配当…2004.03（1.00円）、2007.03（0.50円）、2008.03（0.50円）、2014.03（1.25円）、2022.03（13.50円）に実施。

本業の持続的な成長による利益拡大



## 「安定的で持続可能な利益還元」

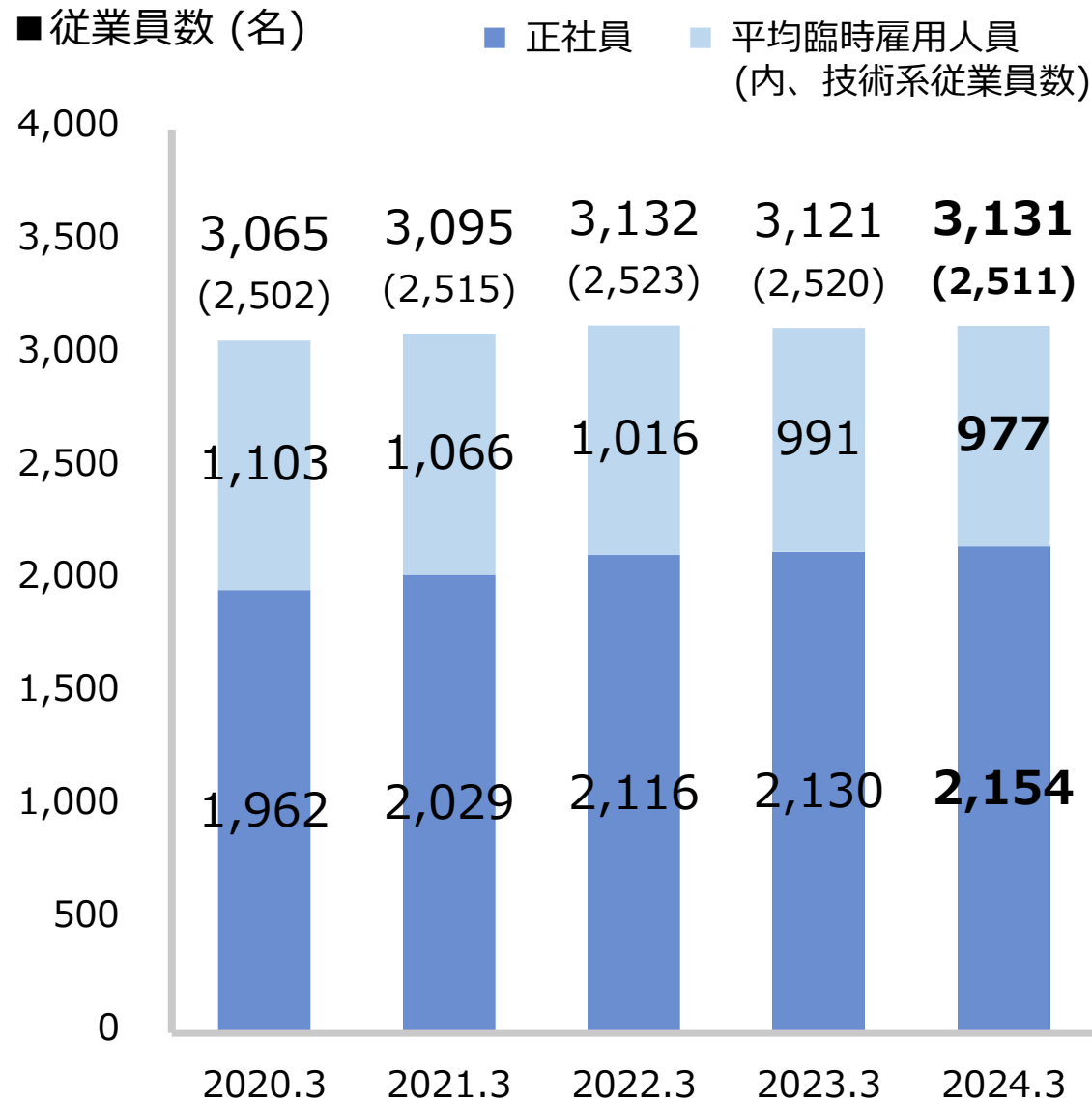


2024中期5カ年経営計画期間中、1株当たりの年間配当金の下限を40円に設定し、同時に連結配当性向の目途を50%程度、純資産配当率の目安を5%程度とすることで、持続的な利益還元を目指す。



- I. 2025年3月期2Q 決算の概要 p.05-p.17
- II. 2024中期5カ年経営計画 p.18-p.26
- III. 株主還元 p.27-p.30
- IV. 補足資料 p.31-p.43**

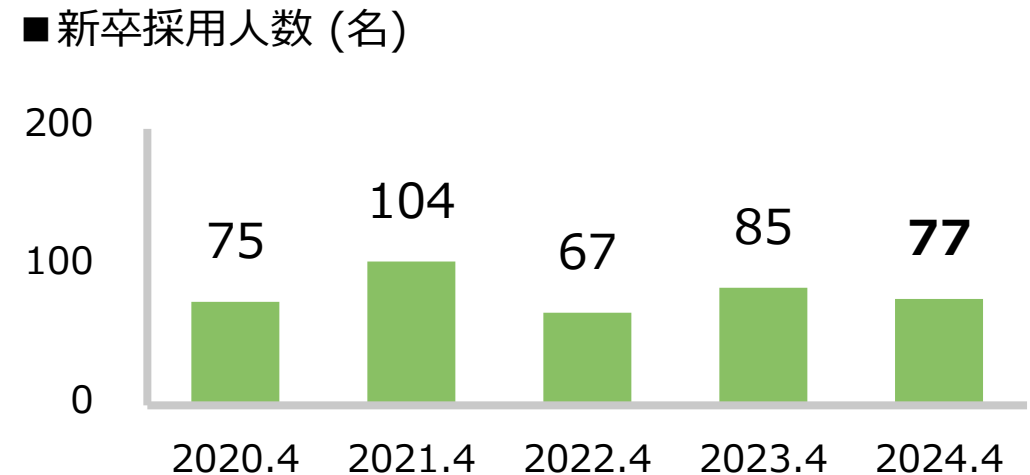




## 8割以上が技術系従業員 技術の会社

### 技術力向上の仕組み

- ・体系的教育カリキュラム
- ・昇格と公的資格のリンク
- ・インストラクター制度 等



※2020.4~2024.4 新卒平均採用人数 81.6名

日本国内の空調・熱源システム市場は  
2.2兆円程度と推計



そのうちメンテナンスの主戦場となる既設案件は約7割



**当社がターゲットとする市場は**  
**1.5兆円程度と推測**

	当社	A社	B社	C社
時価総額 (億円)	<b>366</b>	2,104	1,088	69
PER (倍)	<b>12.58</b>	19.81	16.20	7.55
PBR (倍)	<b>1.48</b>	2.02	1.45	0.33
ROE (%)	<b>12.1</b>	10.6	8.3	6.5
売上高 (億円)	<b>582</b>	3,248	1,226	383
営業利益 (億円)	<b>36</b>	152	82	21
営業利益率 (%)	<b>6.2</b>	4.7	6.7	5.6
平均年間給与 (万円)	<b>626</b>	511	356	380
平均年齢 (歳)	<b>40.2</b>	46.2	53.7	53.0

## 同業他社比による当社の特徴

- ①売上高・利益の規模は劣るものの、
- ②平均年間給与は3社平均を上回り、平均年齢も若い
- ③その上で、同水準以上の利益率を維持
- ④各種株価指標は割安感あり



**付加価値創出力の一層の向上と**

**IR活動強化が必要**

※各社の時価総額は2024年11月6日終値、EPSは2024年度予想、BPS・ROE・売上高・営業利益・営業利益率は2023年度実績。

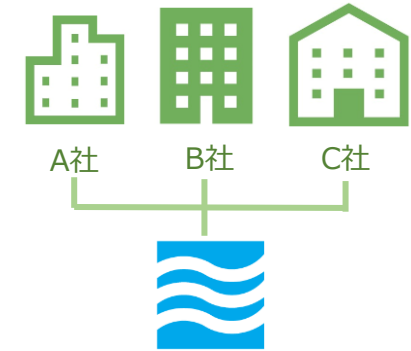
平均年間給与・平均年齢は2023年度実績(B社は2021年度実績)。

※各社の時価総額は2024年度2Q発行済株式数(自己株式を含む)を用いて算出。

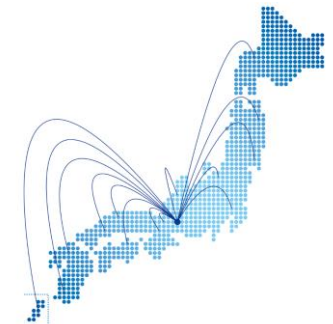
## ① 高度な技術力



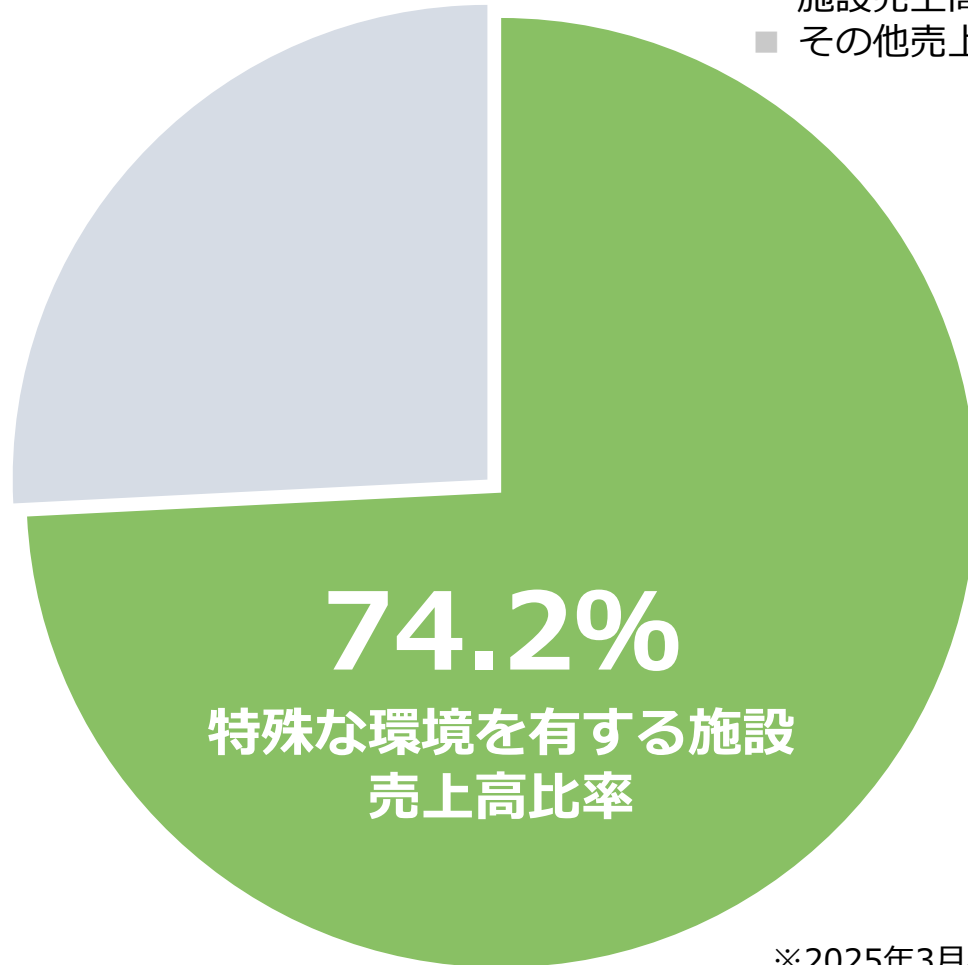
## ② メーカーフリー



## ③ サービスネットワーク



### ■ 特殊な環境を有する施設売上高比率 (%)



- 特殊な環境を有する施設売上高
- その他売上高

**74.2%**  
特殊な環境を有する施設  
売上高比率

※2025年3月期2Q実績

シビアな環境を要求される  
病院や製造工場等では  
維持管理に高度な技術力が必要



- ① **同業他社の参入障壁が高い**
- ② **スイッチング(切替)コスト及びサーチ(探す)コストが高い**
- ③ **需給両面での障壁を築く戦略**

※特殊な環境を有する施設は「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」。

※高度な技術力とは、様々な問題点への迅速な対応力と早期改善提案力及び遂行力の高次元維持を指す。

中央監視業務



日常測定業務



定期メンテナンス業務



ソリューション提案



環境診断業務



消毒・除染業務



こんな環境にできないか？  
どうすれば改善できるか？



お客様との対話を通じて

ニーズを引き出し

**「付加価値向上をサポート」**



**ESG(環境)**の観点から

お客様の事業活動の

サステナビリティに繋がる

一般的な設備維持管理以外にも、以下のような**技術力**が要求されます



※写真は環境性能測定・診断、クリーン機器メンテナンス、環境衛生管理、高性能フィルタメンテナンス、作業環境測定、安全キャビネット性能点検・除染・滅菌・清掃、作業環境改善対策等。

## 顧客施設内の多種多様な設備

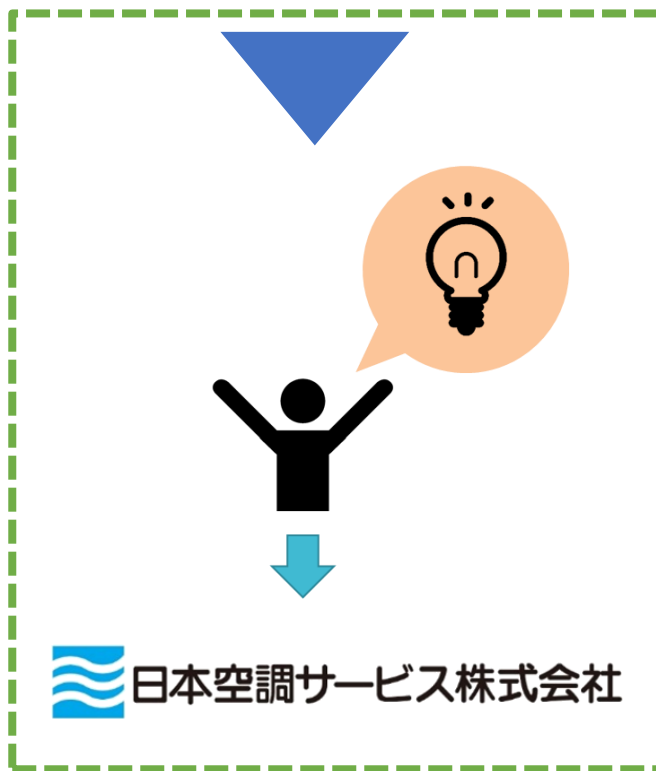
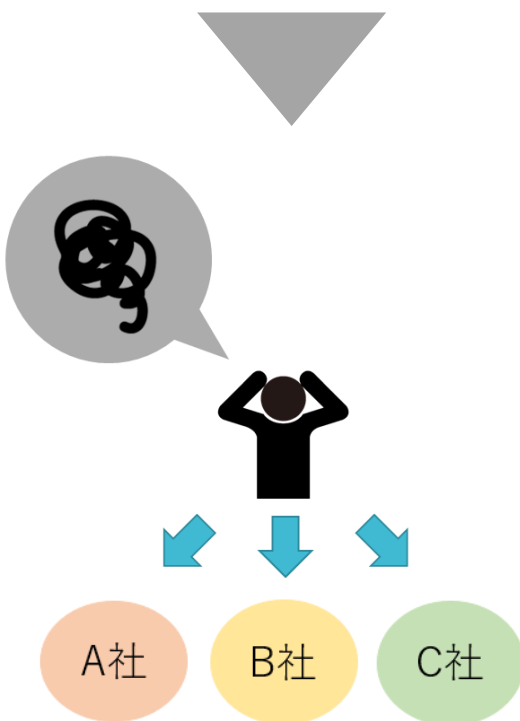
A社製



B社製



C社製



①独立系企業のため

メーカーの制約を受けない

②技術力を有する従業員で

迅速な自社対応が可能



①お客様に提供するサービスの

柔軟性と多様性により

最適な環境づくりをサポート

②顧客設備担当者の負担軽減



## IV. ③サービスネットワーク

© 2024 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

○日本空調サービス(株)  
本社・支店・営業所/**67拠点**

○グループ会社  
国内5社/**21拠点**

47都道府県に当社営業所や  
グループ会社の拠点があるため、  
**迅速な対応が可能**

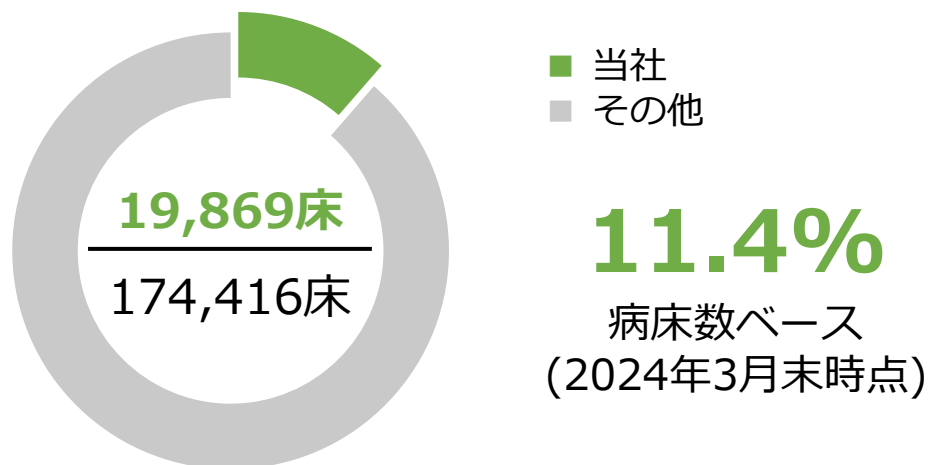


### 海外

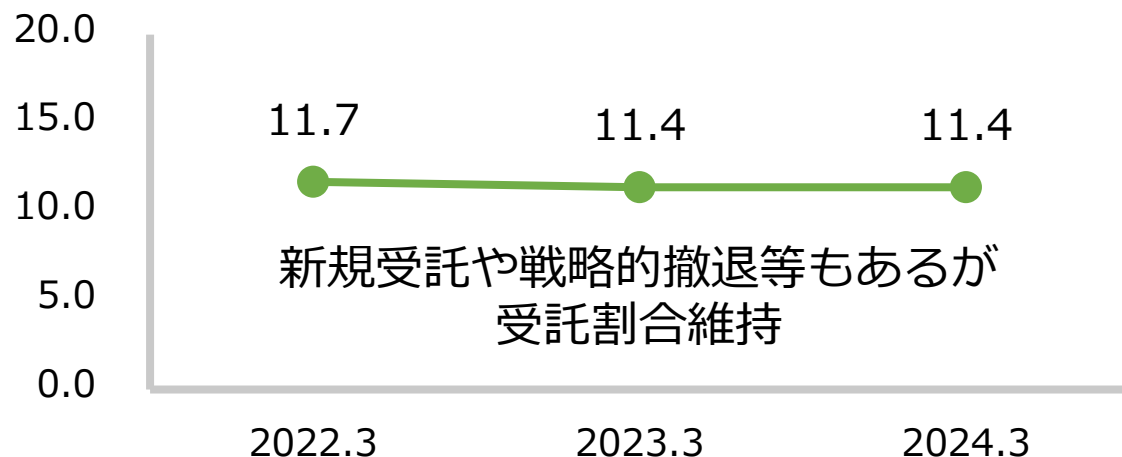
- 中国
  - ・蘇州日空山陽機電技術有限公司 (連結子会社)
  - ・上海日空山陽国際貿易有限公司 (連結子会社)
- シンガポール
  - ・Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd (連結子会社)
  - ・NACS Singapore Pte. Ltd. (連結子会社)
- ベトナム
  - ・NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD. (連結子会社)
- タイ
  - ・NACS KUCHO(THAILAND) CO., LTD. (連結子会社)
- ミャンマー
  - ・NACS Engineering Myanmar Co., Ltd. (連結子会社)
- バングラデシュ
  - ・NACS BD Co., Ltd. (非連結子会社)

※拠点数(住所ベース)は2024年10月31日時点。

## ■ 600床以上の病院における受託割合



## ■ 同受託割合推移 (%)



特殊な環境を有する施設における

長年の実績をベースとした

大規模病院の施設維持管理に強み

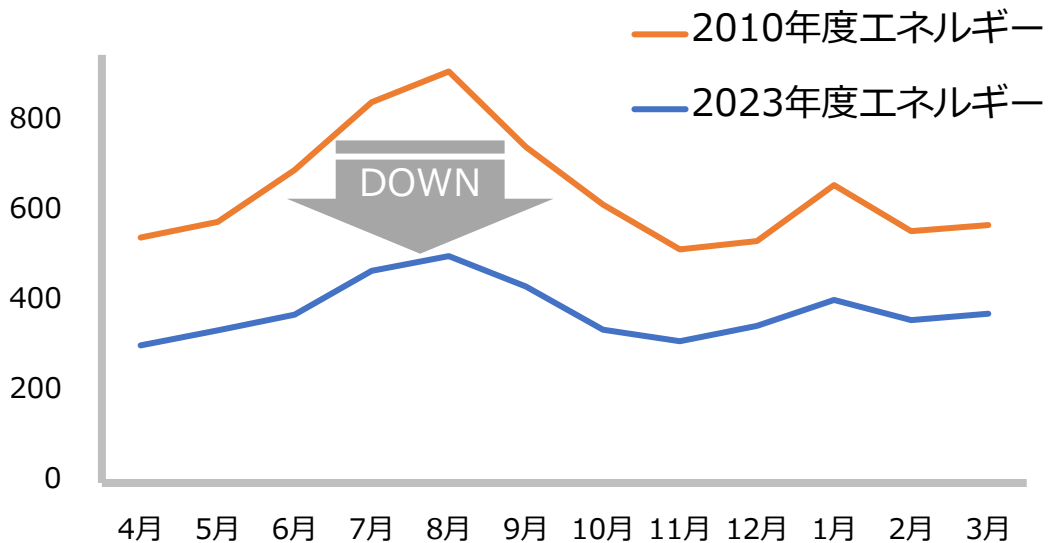


**統括管理・環境性能維持**



**施設の安定稼働と省エネの  
両立による施設運営最適化を実現させる**

■年間エネルギー推移 (t-CO<sub>2</sub>)



■年度別エネルギー推移 (t-CO<sub>2</sub>)



東京都内にある  
 中規模病院（450床規模）での事例  
 延床面積：約48,000m<sup>2</sup>



▼


徹底的な現場把握ときめ細かな運営管理を  
 継続することにより、大幅な省エネに成功

病院は院内環境の最適化を  
 最優先に考える必要がある

▼

設備管理の視点から  
 設備稼働における「余分」を発見し、  
 その「余分」にアプローチしていくことで、  
 当社独自の視点による省エネを実現する

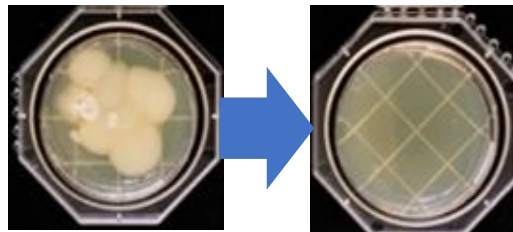
<p>特許1つ目 (2023年4月)</p>	<p>特許2つ目 (2023年11月)</p>
<p><u>安全かつ効率的に</u> 作業を行える <b>微生物除染手法</b></p>	<p><b>お酢</b>と<b>オキシドール</b>を用いた (酢酸)  (低濃度の過酸化水素溶液) </p> <p><b>劇物を使用しない、 より安全な微生物除染手法</b></p>

  
医薬・医療  
関連研究施設

  
大規模病院

  
医薬工場

  
食品・飲料工場



etc.

本資料は、日本空調サービス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載の数値は、別途注記がある場合を除き、全て連結で表記しております。

本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いします。

ステークホルダーの皆様にも  
ヨロコバ  
4658れる企業を目指します。

IR Div.	経営企画部
Phone	052-773-2875
E-mail	ir4658@nikku.co.jp
Website	www.nikku.co.jp



IRメール配信のご登録はこちらから



当社の強み紹介動画ご視聴はこちらから